

流通経済大学 流通情報学部長 矢野裕児 氏



4月に流通経済大学流通情報学部長に就任した矢野裕児教授は「総合物流施策大綱に関する有識者検討会」座長代理として参画。次期大綱は近々に閣議決定される予定だが、トピックインタビューでは、次期大綱のポイントと物流業界のこれからを、矢野氏に示唆していただいた。

運輸新聞創刊100周年記念企画

必要。DXという言葉に踊らされず、各企業が自分の身の丈に合わせたデジタル化、機械化を進めないといけないだろう。物流DXには2つの側面がある。荷主企業が推進するDXを支える形で物流事業者が推進することと、そして物流事業者が主体となつての推進だ。後者の場合は、物流事業者が提供するサービスに付加価値をつけるための明確な目標が欠かせない。

ト 次期物流大綱のポイント

◎ 新型コロナウイルス感染症による社会変化は、物流の構造改革や生産性向上に向けた取り組みを加速的に促進させる機会でもある。次期大綱は、①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した合理化、②時間外労働規制を見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進、③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築、の3点を主要ポイントとした。その中で、「標準化」と「物流DX」の展開が柱となるだろう。

◎ 物流現場は対人・対面によるプロセスが多く、労働力不足がさらに深刻化していく中、ウィズコロナでプロセス改善のニーズが急速に高まってきた。デジタル化や機械化を進めることがまず

機械化と、物流の標準化・作業単純化は、両輪として推進すべきものであり、これは労働力の確保にもつながっていく。もともとDXとはソフトウェアとハードを両輪で進めることを前提にしていることを前提に、①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した合理化、②時間外労働規制を見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進、③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築、の3点を主要ポイントとした。その中で、「標準化」と「物流DX」の展開が柱となるだろう。

◎ 物流現場は対人・対面によるプロセスが多く、労働力不足がさらに深刻化していく中、ウィズコロナでプロセス改善のニーズが急速に高まってきた。デジタル化や機械化を進めることがまず

必要。DXという言葉に踊らされず、各企業が自分の身の丈に合わせたデジタル化、機械化を進めないといけないだろう。物流DXには2つの側面がある。荷主企業が推進するDXを支える形で物流事業者が推進することと、そして物流事業者が主体となつての推進だ。後者の場合は、物流事業者が提供するサービスに付加価値をつけるための明確な目標が欠かせない。

ト 次期物流大綱のポイント

◎ 新型コロナウイルス感染症による社会変化は、物流の構造改革や生産性向上に向けた取り組みを加速的に促進させる機会でもある。次期大綱は、①物流DXや物流標準化によるサプライチェーン全体の徹底した合理化、②時間外労働規制を見据えた労働力不足対策の加速と物流構造改革の推進、③強靱性と持続可能性を確保した物流ネットワークの構築、の3点を主要ポイントとした。その中で、「標準化」と「物流DX」の展開が柱となるだろう。

◎ 物流現場は対人・対面によるプロセスが多く、労働力不足がさらに深刻化していく中、ウィズコロナでプロセス改善のニーズが急速に高まってきた。デジタル化や機械化を進めることがまず

◎ 物流現場は対人・対面によるプロセスが多く、労働力不足がさらに深刻化していく中、ウィズコロナでプロセス改善のニーズが急速に高まってきた。デジタル化や機械化を進めることがまず

◎ 物流現場は対人・対面によるプロセスが多く、労働力不足がさらに深刻化していく中、ウィズコロナでプロセス改善のニーズが急速に高まってきた。デジタル化や機械化を進めることがまず

物流業界は 新技術とのマッチングで 変革の時代へ

20世紀は「都市の時代」、集積するメリットを享受することができた。この先はモデルが崩れていくのではないかと、オフィスも解雇が進んでいる今、集中する構図が崩れ、首都圏の地価も変わっていくだろう。物流は、次世代のグランドデザインなど分散化に寄与できるものと考えられる。

必要。DXという言葉に踊らされず、各企業が自分の身の丈に合わせたデジタル化、機械化を進めないといけないだろう。物流DXには2つの側面がある。荷主企業が推進するDXを支える形で物流事業者が推進することと、そして物流事業者が主体となつての推進だ。後者の場合は、物流事業者が提供するサービスに付加価値をつけるための明確な目標が欠かせない。

価値ある物流を未来へ、
私たちは皆さまに喜んでいただくことをコンセプトに、
ローコストで高品質な物流サービスをご提供いたします。

カンダグループ
カンダホールディングス株式会社
カンダコーポレーション株式会社
株式会社カンダコアテクノ
株式会社ペガサスグローバルエクスプレス